

在京花巻人

発行 在京花巻人会
連絡事務所

東京都中央区東日本橋
3-5-9 市川ビル3階
電話 03-6661-1925

第37回「在京花巻人のつどい」ご参加への御礼

在京花巻人会会長 瀬川 紘一

第37回「在京花巻人のつどい」を7月8日(土) 御茶ノ水の東京ガーデンパレスで開催、盛会のうちに終了することが出来ました。これも日頃の会員の皆様や関係各位のご理解とご協力があつたからこそ、感謝の気持ちで一杯です。又、お忙しい中ご出席頂きました来賓の皆様そして熱心な会員の皆様には、改めて心より厚く御礼を申し上げます。今回から開始時間を30分遅く11時30分とし、司会の伊藤佳子さんの開会宣言に続いて総会を開催。令和4年度の活動報告と令和5年度の活動計画、令和4年度決算と令和5年度予算を滞りなくご承認頂きました。改めてまして会員の皆様に感謝を申し上げます。

懇親会では、まず来賓

の花巻市長上田東一様から挨拶があり、コロナ禍での花巻市の独自の支援策、新図書館の建設や中心街活性化策などへの取組の報告があり、市が活性化への施策を着実に進めていることが解りました。続いて市議会議長藤原伸様から来賓のご挨拶があり、初めての参加で会員の強い故郷への思いを感じたと述べられました。その後、花巻商工会議所副会頭の佐藤良介様より乾杯のご発声を頂き懇談に入りました。

今回のアトラクションは南米アンデスの民族音楽を演奏するロス・ボラーチョスの出演、メンバーの一人が在京石鳥谷町人会副会長の上川信行さんという縁で登場となりました。これまでの郷土芸能とは違つので少し心配がりましたが、鄙びていながら心を打つメロディーが会員の心に心地よく響いたようです。後半は、「賢治を歌う」コーナーで及川慎先生の指導で精神歌などを合唱、フィナーレは小原紘一さんが元幕下勝盛の松田一隆さんの拍子木を伴



上田東一花巻市長



ロス・ボラーチョス

い相撲昆句を披露しました。この後大迫の菊池裕さんが飛び入りで登場、花巻市と上田市長にエールを送って頂きました。閉会后、二次会を御茶ノ水駅前の居酒屋で開催、約40名の参加者が大いに飲み語り、楽しい時間を過ごしました。

開会の挨拶でも触れましたが、私は今回の「つどい」を少し改まった気持ちで迎えました。新たに加わった11人の新理事さんたちが、会員を増やして在京花巻人会を盛り上げようと色々と提案して

くれており、今回はその契機となる「つどい」だったからです。私にとっても改めて地方そして故郷が大事に思えてきており、ふるさと会の存在意義もまた大きくなっているように感じます。参加者の喜んでくれる姿を拝見しながら、会の発展のために更なる努力を続けなければとの思いを新たにしました次第です。

来年は7月6日(土)同じ会場第38回「在京

会費納入のお願いと納入状況の報告

①令和5年度会費納入のお願い

在京花巻人会の運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。花巻会は会員の皆様からの会費で「花巻人のつどい」「会報の発行」を行っています。5年度の会費は6月1日(69号)で送付した振込用紙でお願いします。また振込はご本人負担で110円の加算料金が必要となりましたので、会費は2,890円プラス110円、合わせて3,000円で振込頂きます様をお願いします。

在京花巻人会会長 瀬川 紘一

□座名義 在京花巻人会
□座記号番号 00240-6-111794

②令和5年度の会費納入のお礼と納入状況

5年度の会費納入金額は8月末現在204名589,560円でした。会員皆様のご理解ご協力に感謝とお礼を申し上げます。 会計担当 高橋良光、板垣雅子

令和6年度「第38回在京花巻人のつどい」のお知らせ

日時: 令和6年7月6日(土)11:30~14:30
会場: 東京ガーデンパレス
住所: 東京都文京区湯島1-7-5
電話: 03-3813-6211
アクセス: JR御茶ノ水駅 聖橋口

花巻人のつどい」を開催します。来賓と会員の皆様には是非来年もご参加頂きますようよろしくお願い申し上げます。

『在京花巻人のつどい』に参加して



花巻市商工観光部長 伊藤 昌俊

花巻ご出身の皆様が一堂に会して「第37回在京花巻人のつどい」が盛会裏に開催されましたことを心よりお喜び申し上げます。

コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に引き下げられた中、瀬川会長をはじめ、役員・関係者の皆様のご尽力により、130人を超える会となりましたことに敬意を表します。

令和3年度から商工観光部長として参加させていただいており、在京花巻人会の方々をはじめ、在京大迫人会・石鳥谷町人会・東和町友会の方々と懇親を深めさせていただきます。感謝申し上げます。

私は、花巻市役所近くの吹張町出身で、現在市の生涯学園都市会館として活用されている旧花巻南高校に面する「女学校通り」で育った話をすると、参加した皆様からは懐

かしそつに色々なお話を聞かせていただきました。さて、コロナが5類に引き下げられ、本年度は首都圏で実施する物産展等も活発化しております。10月の14・15日には、昨年に引き続き、埼玉県川口市の「イトーヨーカドーアリオ川口」で、また、11月15日から21日までの期間、東京都庁の全国観光PRコーナーにおいて花巻物産展を開催いたします。

また、年明けの2月には、友好都市の神奈川県平塚市において「第39回友好都市花巻の物産と観光展」を開催予定でございます。詳細についてはお問い合わせください。首都圏での物産展におきましては、在京花巻人会の役員をはじめ、たくさんの方々に越しいただき、担当者一同、大変心強く感じているところであります。今後多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

結びに、在京花巻人会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。のご挨拶いたします。



在京花巻南高校同窓会支部長 岩切 悦子

私の出身は北上市飯豊です。数千口行くと花巻市で、ご存知の方がいるかどうか疑問ですが飯豊盛(エンデモリ)の麓で育ちました。従って花巻人ではない私は、同学生年の花中のテーブルに同席させていただいています。マルカンでソフトクリームを食べ、友達と笑い合って過ごしましたが、それでいて懸命に勉強した記憶はありません。そんな幸せな南高校時代に、ご恩返しのためにも携わっています。在京花巻人のつどいにも楽しみに参加させていただきます。

今年改めて温かい出会いがありました。多分、子育て最中の30歳代の頃からずっとご近所だったらしい花中出身の嶋規さんです。大きなお家の前を通る時、すてきなナアと思つたものです。お話してみると最寄りの駅もよく行くスーパーも共通で、これまでどこかですれ違つていた

かも知れませんが。後日、丹精して育てたピーマンときゅうりをいただきました。みずみずしい野菜たちのおいしかった事は言つても有りません。それから私に優しくお声をかけてくださった大迫の宮崎富貴子さん。お母様が南高校の出身で幼い頃よく花巻の町に出かけたとの事で、愛するお母様との思い出を語るその笑顔がすてきでした。「人生は邂逅である」は高校時代の修学旅行で知り、胸に刻んだ言葉でした。年令を重ねるにつれ、その意味がストンと腑に落ちる時があります。「在京花巻人のつどい」：同じ花巻の空の下、同じ空気を吸って育ってきた者同士、人と人との出会いを細い糸で、これからも継続し、発展していくことでしょう。しかし、ご苦労も多いと思われまふ。運営する会長様はじめ、役員の皆様から感謝申し上げます。



菊池 宗司 (湯本中45年卒)

去る7月8日(土)東京ガーデンパレス開催「第37回在京花巻人のつどい」はコロナ明けという事もあり、総勢129名の参加で久方ぶりの大盛況となりましたが、まずは本会に大変なご尽力されています瀬川会長はじめ幹事の皆様方に敬意と共に感謝申し上げます。私は新興製作所社長代理での出席ですが、同社グループの子会社が取扱う東和町高橋養蜂所の100%天然「花巻はちみつ」(大谷翔平も登板前は食しているとのこと)は在京花巻人の方々にも大変人気があり、継続してご愛用いただいております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、「在京花巻人のつどい」は大都会のご真ん中で一年に一度、七夕の時期に花巻なまり丸出しで遠慮なく昔からの同級生や友人・諸先輩と歓談でき、さらに花巻市長他ご来賓の方々から花巻の現況やトピックス、行事等のお話を直接頂戴できる貴重な会になっています。本つどいの会は私もそうですが花巻から出てきた関東近郊に住む人にとって心のよりどころになっており、毎年楽しみにしています。会の冒頭で瀬川会長から「新しい理事さん六名を迎えはつぱをかけた。来年もますますこの会を大きくしていきたい」との力強いご挨拶もありましたが、是非、本会の継続をお願いしたいと思います。最後に湯本での思い出の一つ。湯本と言えば花巻温泉ですが、温泉の少し先にホ口ホ口鳥で有名な「石黒農場」があります。湯本小学校時代は遠足で同農場を見学して飯盒炊爨が常でした。そのホ口ホ口鳥を東京で唯一食べられたのが有楽町「大雅」、毎年の様に野球部諸先輩たちと宴会を楽しんでいましたが、惜しまれつつ数年前に閉店しました。本会でもご挨拶する元専務の石黒さんからもう復活は無理とのことでしたが、懐かしく東京に来たばかりの若かりし頃を思い浮かべました。

本会員の皆様のご健勝を祈りつつ、来年も「第38回在京花巻人のつどい」でお会いできることを楽しみにしております。



令和5年 在京花巻人のつどい



会員の活動報告コーナー

「ふるさと交流ショップ 台東」での花巻観光物産展応援



去る6月1日(木) 6月7日(水)、千束通り半ばの浅草四丁目にある台東区の地域活性化施設「ふるさと交流ショップ台東」において「花巻観光物産展」が開催されました。昨年4月に続いて2回目の出店となりましたが、花巻はじめ石鳥谷・東和のふるさと会の会員が応援と買い物に駆け付けました。

施設は浅草四丁目の角にあり、スペースも手ごろで食品以外にも様々なお土産品が展示され、まさに花巻観光物産展の名前に相応しい展示となりました。

ていきました。日本中の様々な都市が観光物産展を出店するので、地元の人々もこの施設に興味を持っていくようで、今回も地元の方々が興味深げに覗いていました。後日、台東区の担当者である国際・都市交流推進室の廣部正明都市交流係長に花巻観光協会の佐々木専務理事とお礼に伺った際にも、千束通り活性化が課題なので出展者と地元の人たちとの交流が大切だと話していました。

今回は、会場に在京花巻人会の佐々木哲男理事が作成した交流ノートを設置してもらいました。応援や買い物に駆け付けた会員同士、或いはその会員と花巻市や観光協会から派遣されてきているスタッフの方々の交流を図ること、又、会員からの要望や意見を市や観光協会に活用してもらうことが目的です。これから首都圏で開催される花巻観光物産展には必ず交流ノートを設置しますので、お立ち寄りの際には是非感想や意見を記入し

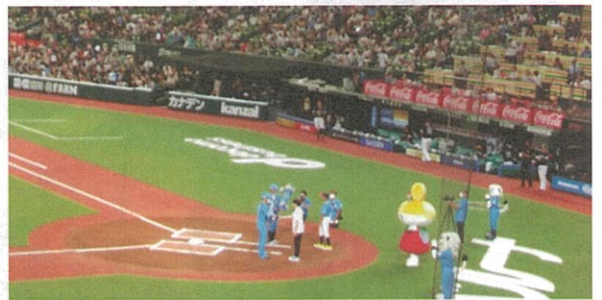
て頂きたいと思えます。よろしくお願い致します。

キラキラはなまき 銀河鉄道ナイト観戦

理事 佐々木 哲男

8月2日(水) 埼玉西武ライオンズの本拠地ベルーナドームで「キラキラはなまき銀河鉄道ナイト」対「福岡ソフトバンクホークス」戦が開催されました。これは埼玉西武ライオンズ様の協力のもと、本拠地ベルーナドームを花巻色に染めて、花巻ゆかりの選手の活躍を応援する、はなまきベースボールフェスタ実行委員会の事業です。当日は多くの親子と富士大学関係の人達、市の関係者が一泊二日のパスツアーで花巻からご来場し、在京花巻人会を含め百名近くの大人数となりました。球場入場前のライオンズの選手の練習を見学することが出来ました。プロの選手の練習を間近で見ることができ子供達は大喜びで、短い時間でしたがいつまでも記憶に残る貴重な時間となりました。

球場内へ入場が始まる



と入り口に花巻のブースがあり、大迫のワインやヨーグルトなどが来場者へ振る舞われました。とても美味しい味で試合開始前からほろ酔い気分になりました。

子供達の代表による始球式になりました。夏休みで多くの野球ファンが来場され二万人近くの観客は大変盛り上がりしました。花巻ゆかりの富士大学出身の外崎選手がホームベースに帰り1点が入ると感動して万歳しました。

試合の途中、花巻市の松田副市長様へご挨拶致しました。日頃の在京花巻人会へのご支援に感謝すると共に花巻市の観光

「第37回在京花巻人のつどい」収支決算報告 (単位:円)

| 収入 | 支出 | 摘要 |
|-----------|-----------|--|
| 737,000 | | 会員参加者90名 (8,000×90)=720,000 内夫婦4組(△8,000) 寄付8名25,000 |
| 280,000 | | 来賓参加者35名 (8,000×35)=280,000 |
| 400,000 | | 一般会計から補助金 |
| | 958,500 | ホテルへ支払い |
| | 111,742 | お土産(賢治最中)、ウエルカムワイン |
| | 87,568 | つどい案内、ハガキ印刷 通信費、荷物搬送、他 |
| | 20,000 | アトラクション (南米アンデス民俗音楽) |
| | 40,000 | 司会、他(謝礼) |
| | 30,000 | 看板製作料 |
| 1,417,000 | 1,247,810 | 差引残高 169,190 |

差引残高169,190円は一般会計に戻し入れました。

物産展への協力、花巻ゆかりの人達への応援など活動していく旨をお話しして引き続きご支援頂きますようお願いしました。花巻市野球協会の菊池徳男会長様と久し振りに挨拶出来たことや、栗山選手のサインポールを手にして喜ぶ子供が印象に残りました。

理事有志が
べんべろの会と
朗読交流会実施

去る8月26日(日) 14時より、在京花巻人会の理事8名は、月島区民館でべんべろの会の5名(内1名は理事の須藤美智子さん)のメンバーと、朗読による交流会を実施しました。今後、当会としてべんべろの会を

応援しようとしています。理事が実際賢治作品の朗読を体験することで企画立案に役立てようという計画されたものです。

当日は、べんべろの会のメンバー5人が自己紹介し、それぞれ気に入った賢治作品を朗読。続いて在京花巻人会の8名の理事がそれぞれ配役を決めて、須藤理事の指導で賢治の作品「植物医師」を朗読、作品に出くる農民を担当した各理事の見事な花巻弁が大きな拍手を受けました。後半は両会の今後の協力について話し合いました。

交流会終了後は月島のもんじゃ屋で両会メンバーが懇親、賢治や花巻を話題に大いに盛り上がりしました。(編集部)

《はなまき あれこれ》

令和5年度花巻市の予算

令和5年度の予算が3月の定例議会で承認されたので、遅まきながらその概要を報告します。予算編成の柱は、①「子育て・ひとづくりのまちづくり」を中心に②「安心暮らしのまちづくり」③「活力に満ちたまちづくり」の3本です。

①は、医療費に対する支援や妊産婦に対する支援、さらには保育環境などに対する支援などに取り組みます。②は、生活に対する支援、住環境の向上、公共交通の維持などに取り組みます。③は、産業振興、まちなかの活性化、各種記念行事、新型コロナ・物価高騰対策などに取り組みます。

令和5年度の一般会計当初予算は、537億9,116万

円で、令和4年度比35億1,858万円(7.0%増)となりました。市の主な一般会計の基金(貯金)の令和5年度末現在高は、前年度見込額と比べて37億円減少し103億円と見込んでいます。同市債(借金)の令和5年度末現在高は、前年度末と比べて23億円減少し、527億円と見込んでいます。このうち国から後年度に地方交付税として受け取ることが出来る額などを除いた「市独自の財源で返済しなければならない一般会計の市債残高の実質的な将来負担額は139億4,137万円で、前年度末と比べ1億4,093万円減少する見込みとのことです。

(広報はなまき4/1号より)

ホットスプリングス市姉妹都市提携30周年を祝う

今年には花巻市が平成5年に米国アーカンソー州ホットスプリングス市との姉妹都市提携を始めてからちょうど30周年となります。今年1月には、姉妹都市提携30周年を記念し、両市関係者によるオンライン懇談を実施、交流の継続を願う気持ちを伝えあいました(写真参照)。

市とホットスプリングス市との交流は、昭和59年にさかのぼります。当時、国際化がうたわれ市が国際姉妹都市交流を検討、候補に挙がったのが花巻市と同じ美しい自然や温泉に恵まれたホットスプリングス市、調査団の相互訪問などを経て平成5年1月に提携盟約書を締結しました。

しかしこの4年間は、コロナ禍でオンラインだけの交流でしたが、今年には様々な交流事業が行われます。

10月には市民のホットスプリングス市訪問ツアー、11月には青少年派遣事業、またホットスプリングス市からは、6月に中高生8人と大学生3人に引率者3人、7月には教員2名を受入れ、9月の花巻まつりにはホットスプリングス市民約20名が参加します。



花巻中央エリア社会実験2023がスタート

中心市街地の活性化を目指し公共空間活用に取り組む花巻市は、まちなかの魅力や滞在快適性の向上を図るため、花巻中央エリア(中央広場から大堰川プロムナード、上町通りなど)の広場や道路を活用したアイデアを民間から募り、様々な使い方や過ごし方を実験します。

実験は、市が7/23、8/25~27、9/24の3回実施。初回の7/23は、歩行者天国となった上町の会場が虹色の傘で彩られ高校生の企画販売が出展し

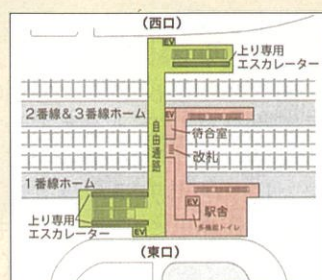
たほか、中央広場などでは「花巻おもちゃフェスティバル」(花巻おもちゃ美術館)、フリーマーケット&ワカナ農園、キッチンカー、手作り小物の販売、足湯、などのイベントが催され目新しい賑いを見せていました。

実施業者や近隣店舗へのアンケートを実施し、公共施設や公共空間の多様な使い方や利用策に反映させたいとのことです。

(岩手日日7/20版、広報はなまき8/15号より)

JR花巻駅橋上化・東西自由通路整備で基本協定締結

市は、かねてから市民参加のもとに花巻駅の橋上化・東西自由通路の整備を進めてきましたが、6月12日にJR東日本と本事業についての「基本協定」を締結しました。基本協定



は、事業の目的や内容、費用負担区分、整備後の財産区分など、基本的な事項を定めたものです。

具体的な事業の実施にあたっては、基本設計協定、実施設計協定、施工協定などを定めて実施します。本年度は基本設計協定を締結し基本設計を行う予定です。又、来年度以降の実実施設計や工事についても、その都度市議会から予算の承認を得ながら進めていきます。(広報はなまき7/1号より)

花巻東高校、堂々の夏の甲子園ベスト8

4年ぶりの夏の甲子園出場を果たした花巻東高は、甲子園でも3勝をあげ、10年振りのベスト4は逃しましたが、見事ベスト8に輝きました。

甲子園の初戦は山口代表の宇部鴻城、小松投手の好投で4対1と危なげなく勝利。2回戦では北北海道代表クラーク国際と対戦、北條投手が好投、2対1の接戦を勝ち取りました。3回戦の相手は奈良代表の伝統校智弁学園、当日横手投げに変えた葛西投手が好投、5対2で完勝し準々決勝に進みました。

準々決勝の相手は夏の甲子園2連覇をねらう宮城代表の仙台育英、先発の小松投手が3回に4失点、続く北條投手と葛西投手も育英打線の勢いを止められず4回に4点、7回にも1点を加えられ9対0と

なりました。

このまま敗戦かと思われましたが、花巻東打線が奮起し9回裏に4点を返し9対4とし、素晴らしい闘志と意地を見せてくれました。

注目の佐々木麟太郎選手はホームランこそ出ませんでした。16打数6安打と活躍し高校生活の最後を有終の美で飾りました。

(編集部)



JAいわて花巻の第25回通常総会と新常勤役員体制

JAいわて花巻は5月26日「第25回通常総代会」を開催、令和4年度の事業報告や令和5年度の事業計画などを審議し、全て原案通り承認されました。

伊藤清孝組合長は、令和4年度も農業を取り巻く環境が厳しさを増す中で、昨年度から取り組む「農業」と「くらし・組織・経営」それぞれの重点項目の達成に努めたことを報告、令和5年度は、産地の農業生産を維持・拡大させるために「不断の自己改革」を推し進め「持続可能な経営基盤強化・確立に取り組んでいく」と述べました。

令和4年度の主な取り組みは、「銀河のしずく」の

作付け前年実績406→501ha、「米の集荷実績」は目標165万袋→実績145.5袋、「リンゴの出荷量過去最高」約28万2,000ケース、「生産資材の各種奨励」は総額約1億900万円、肥料・飼料高騰対策約3,800万円、「くらしの活動」3年ぶりの大規模イベント「収穫感謝祭」を開催など。

一方、伊藤清孝組合長が6月30日付でJA岩手県五連会長に就任、同日付で組合長に高橋利光専務理事が就任しました。専務理事には金田伸氏、常務理事は小田島浩徳氏、小原卓志氏、斎藤俊一氏の3名となりました。(「ぼらーの花巻」6月号、7月号から)

「日本ワインフェスティバル花巻大迫2023」開催さる

県内はじめ、関東甲信越、東北北海道の国産ブドウを原料として醸造するワイナリー37社が集結する「日本ワインフェスティバル花巻大迫2023」が、5/27、28の両日大迫交流活性化センター周辺で開催されました。

両日は周辺道路を歩行者天国にしてブースを設け、各ワイナリーが147銘柄のワインを提供、同センターの前には大型テントと座席が設けられ、チーズや肉料理なども提供されました。ステージでは、いわて応援芸人天津木村さんのトークショーなどで盛り上がり、来場者の一人は、「安心して飲めるのが日

本ワインの良さ、ワインと地元フードとの調和も楽しめた」と語っていました。

定員は各日2,000人、入場には整理券(無料)が必要で事前に市の関連部署

やプレイガイドで入手が必要です。ワインフェスは2017年に始まりましたがコロナ禍で今年は4年ぶりの通常開催です。(岩手日日新聞5/29版などより)



花巻北中学校が文部科学大臣表彰を受賞



左から▶大原健・花巻北中学校区学校運営協議会会長▶佐藤剛・教育長▶片島博子・図書ボランティア▶立花彩花・学校図書館司書▶佐藤敏士・花巻北中学校長

去る4月23日、国立オリンピック記念青少年総合センターで、「令和5年度子供の読書活動優秀実践校」の表彰式が行われ、花巻北中学校が文部科学大臣表彰を受賞しました。市

内小中学校の受賞は、平成14年度に花巻小学校が受賞して以来2校目です。

花巻北中学校では、毎朝の「朝読書」や平成23年度に設立された「図書ボランティア」によると図書室支援、月1回の図書室イベントの開催、保育園児に対しての読み聞かせ交流などを行っており、それらの活動が高く評価されたものです。

(広報はなまき6/1号より)

特集

映画「銀河鉄道の父」を観て



高橋 滋明

賢治さんが三十七歳で亡くなつてから九十年、花巻では映画化した直木賞受賞作「銀河鉄道の父」の公開や「衣装&パネル展」などを行ったことなどが伝えられました。

また、「幸福を探索した人」として尼崎市で賢治さんの生い立ちや作品を紹介するとともに、残された手紙や家族の手記などから彼の人となりについてふれていきますし、世田谷区立図書館では詩、物語、伝記などの関連本が紹介されています。賢治ファンは多いのですよね。

父と商いに対する思い、信仰の悩み、妹「トシ」との別れなど、賢治さんの生き方と創作に影響を与えた出来事を心理描写を巧みに取り入れながらまとめ上げているなあ、と感じました。

妹トシさんは発病から一年二ヶ月でこの世を去つてしまい、賢治さんは鎮魂歌「永訣の朝」、「松の針」、「無声慟哭」を書いてる。

「永訣の朝」(抜粋)

けふのうちに
とほくへいってしまふわたくしのいもうとよ
みぞれがふつておもてはへんにあかるいのだ
(あめゆじゅとてちてけんじや)
うすあかきうつつさう陰惨な雲から
みぞれはびちよびちよふつてくる
(あめゆじゅとてちてけんじや)
青い專業(せんぎや)のもよつについた
これらふたつのかけた陶椀に
おまえがたべるあめゆきを
とらうとして
わたくしはまがつたてつぽつだまのように
このくらいみぞれのなが

に飛びだして
(あめゆじゅとてちてけんじや)
蒼蒼(そうそう)いろの暗い雲から
みぞれはびちよびちよ沈んでくる

この詩から家族の哀しみのワンシーンを描いているのですが見る人々に強い悲しみを与えた...

賢治さんは完成した作品でもその後手を入れてる、ということが新編「宮澤賢治詩集」(天沢退二郎編)の解説にも書かれていて、作品に取り組み果てしない思いが賞賛されている。

もし、賢治さんが長生きしていたならば遺稿の「雨ニモマケズ」にどう手が入るのだろうか、と下手な推理がはたらく。



理事 須藤 美智子

原作本を読んでいたの
で、ストーリーよりも俳
優達の花巻弁に興味があり
ました。さすが、役者
はすごかったです。花巻
弁特有のアクセントや濁
音の使い方が自然で、違

和感なく作品の世界に入ることができました。

特に、主演の役所広司(銀河鉄道の父役)が「永訣の朝」と「雨にも負けず」を花巻弁で読む朗読には心打たれました。最愛の娘と息子を失った父親の、底知れぬ慟哭を聞いたように思えます。

この感動は、俳優の巧みな演技だけでなく、映像で描き出されたリアルな情景を視たことによつて導かれたものに間違いありません。

私は「よだかの星」を朗読したくて、谷口秀子先生の朗読会「べんべろ」に入会しました。「よだかの星」を読む時に最も苦労したのが情景描写の文です。時には邪魔だと思ったりしました。とんだお笑い種です。情景描写をいかに伝えるかが鍵だったのです。

童話集「注文の多い料理店」の序文に賢治は書いています。

「われらのわたくしのおはなしは、みんな林や野原や鉄道線路やらで、虹や月あかりからもらつてきたのです。(中略)。どうしてこんなことがあるよつでしかたないといふことを、わたくしはそのとほり書いたままで」と。谷口先生の朗読を聞く

と、心が暖かくなりました。自分の身近にいた人達が思い出されて、つい吹き出してしまつこともありました。先生が情景描写の文を指して「ここ、好きなの」と話していたこともあります。先生の中には、賢治が見たり感じたりした世界が、鮮明に、色濃く存在していたのです。

賢治と同じ土地に生まれ育ち、同じ空や山を眺め、川や林の中で遊んだことのある私達は、賢治の心の世界に近づけることができるかもしれない。花巻人会から一緒に朗読する方が現れる事を期待しています。銀河の彼方から、ここにこと微笑む谷口先生が見えます。

映画「銀河鉄道の父」試写会開催

第158回直木賞を受賞した門井慶喜の同名の小説を映画化した「銀河鉄道の父」の試写会が、宮澤賢治没後90年事業の一環として4月8日、全国公開(5/5)に先駆けて、花巻市文化会館で開催されました。

試写会では、政次郎役の役所広司さんとトシ役の森七菜さん、それに成島出監督が登場し舞台挨拶をしました。役所さんは冒頭花巻弁で「今日はお越しいただき、ありがとうございます」と挨拶し大きな拍手で迎えられていました。

花巻での映画の撮影は、令和4年の5月〜6月に行われましたが、成島監督は「撮影していて、自然の豊かさや厳しさ、人の温かさに触れ、この土地柄が宮澤賢治という世界的作家を生んだと思つた」と語っていました。

3人には、上田市長と達増知事から記念品が贈られました。(編集部)



《首都圏で「花巻」と出会うコーナー》

新聞編

牛崎学芸員が語る「銀河鉄道の夜」未完の魅力

宮澤賢治が亡くなって9月で90年。朝日新聞は8月7日の夕刊で、宮澤賢治記念館の牛崎敏哉学芸員が語る「銀河鉄道の夜」の魅力について取り上げました。

牛崎さんによれば、賢治は1924年に下書きに着手し10年かけて推敲を重ねますが、書き直した順番に、「初期系1～3」と「後期系（最終系）」があり、一応まとまりを得ていた「初期系3」と「後期系」では内容が大きく違っているとのこと。

「初期系3」では、ジョバンニが体験する銀河鉄道の旅は、ブルカニ博士によるテレパシー実験だったという作り、主人公の問いかけに「セロのような声」が答えてくれます。一方「後期系」では、すでに亡くなっているカンパネラに焦点が当てられ「本当の幸せとは何か」という

ジョバンニの問いに「わからない」という返事で終わっています。

88枚の草稿と1枚の構想メモが残されていますが、1枚の原稿用紙の上に賢治の好きな「地層」のように幾つもの書き重ねられているとのこと、二つの物語が何を意味するのか興味を湧かします。牛崎さんは、「銀河鉄道の夜」は未完の作品、賢治が長生きしていたらどのような物語を紡いだらう、そんな楽しみも与えてくれる作品だと語っています。



花巻東高・女子硬式野球部が急成長

令和5年6月7日(水)の朝日新聞に、花巻東高女子硬式野球部が、全国の部活を応援する動画メディア「ブカピ(部活ピーポー)部活ONE」(朝日新聞とテレビ朝日が運営)に取り上げられたことが報道されました。

花巻東高女子硬式野球部は、今春開かれた第24回全国高校女子硬式野球選手権大会で、創部わずか4年目にもかかわらず東京ドームでの決勝戦に進み準優勝を飾りました。それは、独自の練習を重ねたからと、その練習ぶりを「茨城ゴールデンゴールズ」の選手兼監督の片岡安祐美さんが、花巻東高を訪ねて練習に参加しレポートしています。

動画では、通常1対1でやるキャッチボールを、足を動かせるし短時間で多くの球を投げられるからと3対3でやったり、守備力強化のために守備位置を約4メートル

手前にしての内野ノックもありました。スタジオのMC(なえなのさん)は「他の学校にはない練習をしているから急成長しているんですね」と感心していました。

番組後半では、俊足強打の佐々木秋羽選手(2年)を特集。兄は男子硬式野球部で全国屈指のスラッガーとして注目されている佐々木麟太郎選手(3年)、父の洋さんは同部の監督という野球一家です。秋羽選手が兄妹で目指すのは甲子園、ただこの夏男子は甲子園出場を果たしましたが、女子は決勝リーグの1回戦で敗退し、甲子園には届きませんでした。ご関心の向きはQRコードで動画をご覧ください。



詳細はこちらから
ご覧いただけます。

《お知らせ》

「イーハトーブの風をもらってーべんべる朗読会ー」のお知らせ

11月15日に開催を予定しておりましたが、会場が会報の締め切りまでに決まらず、開催の日時や会場をお知らせすることが出来ません。

申し訳ありませんが、決まり次第在京花巻人会のホームページに掲載致しますので、そちらをご覧ください。

「岩手県花巻市フェア」アリオ川口店で開催

イトーヨーカ堂のアリオ川口店1階センターコートで「岩手県花巻市フェア」が今年も開催されます。(チラシ参照)

花巻物産品は7社が出展予定、抽選会も行われ2,000円購入ごとに1回抽選、花巻市の特産品が当たります。催しも鹿踊が各日2回演舞を予定、わんこそば大会も各日1回実施する予定。
日時：10月14日(土)10時～19時、15日(日)10時～17時
アクセス：JR京浜東北線「川口駅」東口より徒歩8分

東京都庁で「花巻観光物産展」開催

昨年が続いて2度目となる、東京都庁第一本庁舎1階南側「全国観光PRコーナー」で「花巻観光物産展」が開催されます。

花巻の名産品が多く展示されるほか、スクリーンで花巻の美しい光景が映し出され花巻の観光がPRされます。

日時：11月15日(水)～21日(火)9時30分～18時30分(最終日14時00分まで)

都営地下鉄大江戸線「都庁駅前」下車、又は、JR新宿駅西口発都庁行きバス「都庁第一本庁舎」下車

「湘南といましまひり」に花巻から出店

平塚市の地元JAが主催するこのイベントに花巻市から何店か出店の予定です、出し物については未定とのこと。

日時：11月25日(日) 会場：平塚市総合運動公園

在京花巻人会のホームページ立ち上げ!!

「在京花巻人会」で検索して、ニュースや報告をご覧ください。